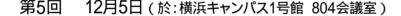


 地の資料館にはそれぞれの地域の民族が使い伝えた民具が収集されているのである。といっても収蔵庫にある民具の多くは大正・昭和期に製作されたもので古代のものがそのままあるわけではない。しかしながら伝統的民具は壊れると元の形で更新されるので、大正・昭和の民具にも古代以来の形質は継承されている。しかも古い時代の文字資料は中央に限られるのに対して、民具は全国どこにでもある。したがって各地の資料館の全域調査を実施して広域に比較検討すれば、文字資料では死角となっていた日本列島の多民族状況が彩りゆたかに復原できるであろう。いま東北地方から全県調査を始めたばかりだが、木摺臼の作業姿勢などに興味深い成果が出始めている。それらは報告書にまとめることとしたい。

主な研究活動

全体会議

プロジェクトが発足して数カ月が経ち、事務局体制も次第に整い、 現地調査を踏まえたもの、体系化に関する理論など、研究発表に対 する質疑応答も活発に行われている。今後のプロジェクトの方向性 も少しずつ見出されるようになってきた。





研究会

全 体

河野 通明(12月5日)

身体技法・感性を手掛かりとした古代日本列島の多民族状況の検出の模索

班

三鬼 清一郎(11月11日・3班)

倭城・倭館・合戦図 朝鮮半島における日本関係建造物をめぐって

須山 聡 (11月11日·3班)

渋沢敬三のまなざし

香月 洋一郎 (11月11日·3班)

方法としての景観に向けて

金 貞我(12月5日・1班)

『日本常民生活絵引』英語訳の試みとその問題点

冨井 正憲 (12月16日・3班)

漢城・京城・ソウル 南山を中心として

八久保厚志(12月16日・3班)

景観変化に関する地理学的分析と分析手法についての研究 (案・構想) アチック・ミュージアムに残された景観資料を起点として





現 地 調 査

(11月~12月実施分)

ジョン・ボチャラリ 千葉県佐倉市 国立歴史民俗博物館(11月1日)

生活絵巻、屏風などの調査

香月 洋一郎 東京都青梅市及びあきる野市(11月9日~10日)

景観調査のための検討資料の収集

廣田 律子、山口 建治、梅野 光興 │ 高知県本川村 (11月14日~17日)

本川神楽を調査し、鬼と翁の身体技法の考察

河野 通明 宮城県金成町、迫町 他(11月19日~21日)

民具からの身体技法の検出のための木摺臼の調査

近世アイヌ関係を中心とした図像資料の閲覧・収集(複写)

福田 アジオ、田島 佳也 中国 北京(北京師範大学その他)(11月22日~26日)

東アジア図像資料の所在調査及び収集

須山 聡 広島県尾道市、愛媛県大三島町 他(11月28日~29日)

渋沢コレクション写真資料の現地比定

八久保 厚志 広島県尾道市、三原市、竹原市、大三島(11月28日~30日)

景観変化に関する実態調査

香月 洋一郎 山口県大島郡久賀町役場、広島県広島西空港(12月1日~5日)

景観調査のための地割図の複写及び研究地点の空撮

佐野 賢治、北原 糸子、木下 宏揚、齊藤 隆弘、中村 政則、原信田 實、網野 暁、富澤 達三、中町 泰子 東京都写真美術館(12月4日)

文化情報発信システムの開発、特に写真資料の修復、保存技術、データ化、検策システムに関する情報交換

北原 糸子、原信田 實 京橋、上野、日暮里、深川他各所 (12月7日、21日)

名所江戸百景に描かれた場所の現況の確認調査

川田 順造 フランス、西アフリカ (ベナン、ブルキナファソ、マリ) (12月8日~22日)

西アフリカ三カ国の伝統文化センターでの資料収集、伝統的職能者の面接調査

福田 アジオ、金 貞我、網野 暁 | 韓国 ソウル(延世大学、国立中央博物館他)(12月9日~13日)

図像資料所在調査および関連資料の収集

佐野 賢治、橘川 俊忠、田上 繁 福島県南会津郡只見町 (12月16日~18日)

山村民具・民俗・文書資料のデータ化及び保存・管理・展示法の視察及び情報交換

八久保 厚志 新島(12月18日~20日)

新島における海岸集落の景観実態調査

河野 通明 岩手県遠野市、平泉町 他(12月18日~20日)

木摺臼の計測データの収集

菊池 勇夫 北海道函館市 (市立函館図書館)(12月19日~21日)

近世アイヌ関係を中心とした図像資料(和書含む)の閲覧・収集(複写)

北原 糸子 長崎県島原市、兵庫県姫路市(12月24日~27日)

雲仙岳災害記念館、姫路市熊谷次郎氏宅における資料調査

小馬 徹 ケニア共和国 (12月27日~1月11日)

ケニア国立博物館、ならびにケニア国立文書館の非文字資料収蔵状況調査